

軽自動車税廃車申告書兼標識返納書  
(原動機付自転車・小型特殊自動車)

年 月 日

平塚市長

次のとおり申告及び標識の返納をします。

# 廃 車

申告の理由	種 別	
廃 車	原動機付自転車	小型特殊自動車
廃棄 譲渡 転出 盗難・紛失 その他 ( )	第一種 一般原付 (総排気量50cc又は定格出力0.6kW以下)	農耕作業用 その他 ( )
	第一種 一般原付 (総排気量125cc以下かつ最高出力4.0kW以下)	
	第一種 特定原付(定格出力0.6kW以下)	
	第二種 乙 (総排気量90cc又は定格出力0.8kW以下) 第二種 甲 (総排気量125cc又は定格出力1.0kW以下) ミニカー	

標 識 番 号	平塚市						
廃車年月日	年 月 日						

納税(申告・報告)義務者	所 有 者	住所又は所在地 〒 [ ] [ ] [ ] - [ ] [ ] [ ] [ ] 神奈川県平塚市	主たる定置場	1. 左記所有者の住所又は所在地と同じ 2.				
	氏名又は名称	(フリガナ)	車 名	型式及び年式 型 年式	原動機の型式番号			
	生年月日	大・昭 年 月 日 電話 番号	車 台 番 号	型式認定番号	総排気量又は定格出力 CC kW			
	使 用 者	住所又は所在地 〒 [ ] [ ] [ ] - [ ] [ ] [ ] [ ] 所有者に同じ	長 さ	幅	最高速度	最高出力		
氏名又は名称	(フリガナ)	cm	cm	km/h	kW			
生年月日	大・昭 年 月 日 電話 番号	標識返納の有無		標識返納がない場合、その理由				
盗 難	住所又は所在地 所有者に同じ	1. 有 2. 無	イ.盗難 ロ.紛失 ハ.破損 ニ.その他( ) (具体的に: )					
出 者	(フリガナ)	盗 難	届出年月日	年 月 日	被害年月日	年 月 日	届出警察署	警察署
電話番号	所有者に同じ	受理番号	届出人	所有者 その他(氏名)	被害状況	車体盗難 プレートのみ盗難 その他(空き巣被害等)		
届 出 者	住所 所有者に同じ	紛 失	日時: 年 月 日 場所: 市内・市外( ) 紛失状況: 車体ごと・プレートのみ(車体は廃棄・譲渡・その他( )) 具体的な状況:					
(法人の場合)	(フリガナ)	標識き損弁償金	200円	収納印	廃車受付年月日			
氏名	所有者に同じ	【職員確認欄】		確認者	担当者			
【納税義務者と届出者が異なる場合、次を確認しチェックしてください】		運転免許証 資格確認書 個人番号カード 在留カード その他( )		<ul style="list-style-type: none"> <li>・太枠内の記入をお願いします。</li> <li>・届出者が法人の場合は個人の情報も記入をお願いします。</li> </ul>				
私、届出者は納税義務者の承諾を得て、原動機付自転車等の登録手続きを行っています。 (なお、納税義務者の承諾を得ていない場合、地方税法や刑法等の罪に該当する可能性があります。)								

第34号様式(用紙日本工業規格A4)  
(第十六条関係)

### 第34号様式記載要領

- 1 この申告書は、原動機付自転車又は小型特殊自動車1台ごとに作成すること。
- 2 「申告の理由」及び「種別」の各欄には、該当箇所の（チェック欄）にレを記入すること。なお、「種別」の欄については、該当箇所の（チェック欄）のいずれか1つのみにレを記入すること。
- 3 「廃車年月日」の欄には、納税義務が消滅した年月日を記入すること。
- 4 「納税（申告）義務者」の欄の「住所又は所在地」には、都道府県、市町村名、番地まで記入すること。  
また、納税義務者等がビル等に入居している場合又は同居人である場合には、ビル等の名称のほか棟号数、室番号又は 様方のように、郵便物が確実に届くように記入すること。
- 5 「納税（申告）義務者」の欄には、所有者と使用者が同じである場合は、所有者欄のみを記入すること。
- 6 「届出者」の欄には、申告に来た者が納税義務者以外の者である場合に記入すること。
- 7 「主たる定置場」の欄には、申告の際の主たる定置場が所有者の住所又は所在地と同じである場合については1を で囲み、それ以外の場合については2の欄にその住所又は所在地を具体的に記入すること。
- 8 「長さ」、「幅」及び「最高速度」の欄は、特定原付の申告時のみ記入すること。
- 9 「最高出力」の欄は、総排気量125cc以下かつ最高出力4.0kW以下の一般原付の申告時のみ記入すること。
- 10 「標識返納の有無」の欄には、標識の返納が有る場合には1を、また、標識の返納のない場合には2を で囲むこと。なお、標識の返納のない場合については、その理由に該当する項目を で囲み、具体的な理由を〔 〕内に記入すること。
- 11 「盗難届出」の欄には、「申告の理由」又は「標識返納がない場合、その理由」欄において「盗難」に該当する場合に、その盗難を届出た年月日、被害年月日、届出警察署及び受理番号を記入すること。